



自民党政治にレッドカードを！

「裏金問題」にはフタ 「戦争国家づくり」は前のめり

○裏金問題解明なし

裏金問題について、政倫審で安倍派幹部は「知らない」「記憶がない」を繰り返す。二階氏は「衆院選不出馬」でお茶を濁し、岸田首相は自民党内「処分」で幕引きを図ろうとしている。裏金がいづどのようにして始められたのか、何に使われたのか、真相解明に向けて証人喚問が必要です。

○着々と進む「戦争国家づくり」

22年末、岸田政権は敵基地攻撃能力の保有と、5年間で43兆円の軍事費をつぎ込む大軍拡計画を盛り込んだ「安保3文書」を閣議決定。それに基づいて自



見守る委員長の田村とも子
経済秘密保護法案で

組み込むものです。日米首脳会談では、米軍と自衛隊による「指揮統制」を連携させる方針で合意。米軍と自衛隊の部隊を一体的に動かし、ともに戦争を戦う態勢をつくらうとしています。

○戦争する国への体制づくりのひとつ「経済秘密保護法案」とは？

「戦争国家づくり」は軍事面だけでなく、国民支配の面でも。現在国会審議中の「経済秘密保護法案」は、13年に強行された秘密保護法を経済情報も秘密に指定することによって、秘密保護法制を拡大するものです。

○自民党政治を終わらせよう

裏金問題の解明もないまま、岸田政権は「戦争国家づくり」を着々と進めています。JNNの世論調査では次の衆院選で「政権交代のぞむ」声が42%となり「自公政権継続」を上回っています。今こそ国民の声を集めて戦争への道をひたはしる自民党政治を終わらせましょう。

(編集部)



おとなりの気になっていた
花つるキキョウ

毎年きれいに咲いています。

絵手紙 (下大久保・町子)

文書に基づき、平時から自衛隊や海上保安庁が使用可能な「特別利用空港・港湾」の第1弾として7道県16施設を選定。24年度予算に関連費370億円を計上。公共のインフラを平時から軍事利用し戦争体制に

「武器は命を奪うもの、食料は命を守るもの」

援を強化し、食料自給率を高める政策を打ち出す必要があります。

●参議院議員会館講堂で4月4日、「種子を守る！緊急院内集会」が開かれ、参加しました。

ところが、新基本法の原案には食糧自給率向上のための政策には言及されず、種子自給の記述もありません。

「食料・農業・農村基本法案」が今国会に上程されています。パブリックコメントには種子に関する意見が多かったのですが、法案には種子について記述がなく、この院内集会は「種の自給を！」求めて開かれました。

平時は輸入先との関係強化と海外での日本向け生産への投資に努める、戦争など不測の事態で物流が止つたら農民への「増産命令」、従わないと罰金を科すという有事立法をつくらうといっています。平時は輸入に頼り、有事は強制増産させるなどということができるわけがありません。

☆久保みきが行く☆

世界的な食料需給情勢の悪化、肥料、飼料、燃料などの暴騰で、農家は赤字にあえぎ、廃業が激増しています。不測の事態にも国民の命を守るように国内生産への支

また、コメ需要が減少しているとして、水田の畑地化も推進しようとしています。

中国は今、戦争に備えて14億人の人口が1年半食へられるだけの穀物を備蓄するそうです。日本の備蓄量はコメを中心にしてせいぜい一ヶ月半と

43兆円もの軍事費を使うのであれば、まずは命を守る食料をしっかりと国内で確保するために使うべきです。

「武器は命を奪うもの。食料は命を守るもの」(集会での鈴木木宣弘教授発言)です。

(久保みき さいたま市議)



種子を守る！緊急院内集会

14時開始予定です。(終了は16時予定)
通信の不安のためにカメラ、マイクはオフでご参加ください。
お知らせしているとおり、zoom参加は後継のみとなります。

2024年4月4日 14:00-16:00

参議院議員会館講堂+オンライン

日本の種子(たね)を守る会

それって本当？共産党

シリーズ74

田村委員長に大注目

Q:共産党の田村智子委員長が記者会見やテレビに次々と出ているね。

A:共産党初の女性党首ということはもちろん、国会での活躍もあるからね。テレビ番組でも「政治の世界にこうした女性のリーダーがいるのは非常に心強い」と期待が語られていた。

Q:田村さんは、どんな問題でも自由かつ達達に話しているね。

A:「赤旗」のスクープで大問題になった自民党の裏金問題では、「自民党と企業・財界のゆ着が政治のゆがみを生んでいる。『赤旗』はこれを正そうという独自の目で見ているから」スクープができると言っている。

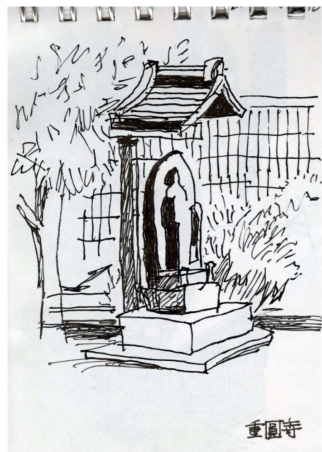
Q:経済問題でも、質問者を納得させていた。

A:田村さんが、「安定して、やりがいがある働き方、明日に希望が見える暮らしを政治が保障する」と「経済再生プラン」を紹介すると、「かなり現実的な提案だ」と。外交でも、東アジアに戦争の心配のない平和な地域を築く「外交プラン」を語ると、質問者は「そういう話をもっと聞きたい」と言っていた。

Q:共産党のめざす未来社会も好評だね。

A:「キーワードは自由。(労働時間の短縮で)人間の自由がどこまでも花開く社会」と話すと、「非常に若い人にひびく」と応じていた。(上大久保・とし坊)

スケッチ (青山 豊次・道場)



重圓寺・地藏菩薩立像 (桜区栄和3丁目)



あきがせ

新入生も参加！ フードパントリー

民青同盟埼玉県委員会とみんなの未来埼玉は4月6日、「街かどフードパントリー(食料支援活動)」を開催、今回は新入生も来場し、春の訪れを感じました。

学生の声を知るアンケートを使い、生活実態や関心のある問題などで対話しました。理学部の新入生は「岸田政権はもうダメだと思っている。自民党政権が続く限り、自分たちの生活は良くなる展望がない」と語りました。教

育学部の4年生は、「養護教諭にならなくて教育学部を選んだが、教員の働き方や賃金が労働にみあってないと思い、進路選択を考え直している」と将来への不安を語りました。

またスタッフで参加の大学院生は、「院生は給付制奨学金の対象にならないため、学費の分バイトするのかなと思うと、この先が不安。なんとかならないかと思う」と、学費負担の重さを話しました。(スタッフ)

春本番だが...

主義社会の特徴をまじまじと見せつけられているのであろうか。

この地にやって来てもう4年目。まだ波があるが、ようやく桜の蕾もほころび、春本番といった所になってきた。学部生としての最終学年ということでは前年までのように呑気にうかうかしてはいられない。若干就職活動で遅れ気味であるのだが、動き出しが遅い私はなかなか動き出せない。街中で順調に就活している風に見える人を見たり、就活サービスに煽られたりと焦りを感じさせられている。これもまた、弱肉強食の資本

社会や政治でも、いつになく気が晴れない。株価は空前の暴騰ぶりを示すが、それが実生活に降りてきていないし、自民党の裏金事件はまともに捜査・調査・解明もされないのに、一般人は平気で冤罪の罠に陥れられてしまう。これ以上理不尽極まりないという言葉が似合うこともない。晴れ晴れしい景色とは裏腹に、気持ちいどんよりとした春を迎えている。(大学生・M)



子どもがつくる 子どもまつり

in桜区

今年で2回目の「夢桜(ゆめさく)さいたままつり」が、3月10日プラザウエスト全館で開催されました。4階は、小中学生専用エリア(子どもだけで楽しんじゃおう)3階2階は、誰でも歓迎エリア。桜区の小中学生が企画・準備して、みんなで作って、みんなで遊ぶおまつりです。主役は子ども、大人は見守り・応援です。

遊コーナー!食(食べ物)コーナー!ドローン体験・昔遊び・みんなで踊って動画を撮ろう!缶バッジづくり・段ボールクラフト・プログラミング教室・プラネタリウムなど、各コーナーは、子どもスタッフ(今回は24人)が役割を分担して一生懸命動き回っていました。参加した親子は楽しい時間を過ごせたようです。子どもスタッフは、開催まで会議を幾度も重ねて準備をしました。忘れられない体験を「力」に大きく成長していつてほしいと思います。(栄和・箱石)

無料

生活相談

■日時 第2・第3木曜日 午後2時~4時
■会場 土合センター
☎ 048-862-4774

無料

何でも相談会

●日時 4/21(日) 午後1時~3時
●会場:大久保東「あしびなあ」 事前に予約をお願いします。 090-5495-6091(矢澤)まで